

## 1. 施設の名称等

施設名称	雲仙公園テニスコート
所在地	雲仙市小浜町雲仙字湯ノ里378-1他

事業所管	県民生活環境部 自然環境課
課（室）長名	石川 拓哉

総合計画上の位置づけ	基本戦略	—	
	施策	—	
	事業群	—	

## 2. 施設の概要

設置年月日	平成6年3月28日								
設置法令等	自然公園内県営公園施設条例（昭和32年5月24日）								
設置目的	国立公園雲仙の多様な利用者のニーズに応える野外レクリエーションの場を提供するとともに、雲仙地域来訪者の増加を図るため。								
利用対象者等	主な利用者：県民及び県外観光客、大学等サークルの合宿など								
施設内容	総面積：5,063㎡ 主な施設：テニスコート（オムニコート）5面、駐車場（As舗装）27台、管理棟1棟、休憩所2棟、防球フェンスH3.0m、街路灯5基								
施設の利用料金体系	<コート使用料> ・シーズン期（4/1～10/31）：1,000円（1コート1時間当たり） ・オフシーズン期（11/1～3/31）：800円（1コート1時間当たり） <用具貸出> ・ラケット（ボール4個付）200円/本								
類似施設の設置状況	利用料金	一般	平日	県立総合運動公園	310円	県立百花台公園	310円	田平公園	310円
			休日	580円	560円	560円			
		高校生以下	平日	210円	200円	200円			
			休日	260円	250円	250円			
	年間利用者数（令和2年度）		69,550人	4,957人	5,336人				
	指定管理者制度導入		平成18年4月1日～	平成18年4月1日～	平成18年4月1日～				
	指定管理者		（一社）長崎県公園緑地協会・（一社）長崎陸上競技協会・八江グリーンホート共同体	（一社）長崎県公園緑地協会・八江グリーンホート共同体	（一社）長崎県公園緑地協会				
公募・非公募		公募	公募	公募					

区 分 (単位：千円)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (計画)
	財源				
国庫	0	0	0	0	0
その他（環境保全使用料）	0	99	0	83	0
一般財源	0	0	0	0	0
事業費<A>	0	99	0	83	0
内訳					
管理運営負担金	0	0	0	0	0
その他（修繕費）	0	99	0	83	0
人件費<B>	0	0	0	0	0
合計<C=A+B>	0	99	0	83	0
単位あたりコスト	0	7	0	15	0

(説明) 「利用者100人あたりの費用」=C÷(利用者数÷100)

## 3. 指定管理者の概要

指定管理者の名称等	《所在地》	雲仙市小浜町雲仙500-1			
	《名称》	株式会社青雲荘			
	《代表者氏名》	代表取締役社長 久野 隆紹			
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日				
業務	①施設（設備）の維持・修繕等				
利用料金制	■ 導入済	未導入	選定方法	■ 公募	非公募

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	①	施設利用者数	(目標値の根拠)		〈令和3年度実施における変更点〉				
	②		過去3カ年の利用者数実績の平均値とする		なし				
	③								
	実績		平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(計画)		
		単位							
	①	a	目標値	人	1,455	1,567	1,410	1,258	979
		b	実績値	人	1,396	1,354	1,025	557	
		c	達成率b/a	%	95	86	72	44	
	②	a	目標値						
		b	実績値						
c		達成率b/a	%						
③	a	目標値							
	b	実績値							
	c	達成率b/a	%						
指定管理者の収支状況	事業計画 (R2)		平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(計画)		
	(千円)	実績-計画							
	利用料金	555 ▲ 329	647	609	456	226	555		
	県負担金	0 0	0	0	0	0			
	その他	0 0	0	0	0	0			
	収入計a	555 ▲ 329	647	609	456	226	555		
	支出b	540 ▲ 31	639	558	437	509	540		
	うち人件費	490 ▲ 80	599	510	385	410	490		
	収支a-b	15 ▲ 298	8	51	19	▲ 283	15		
配置職員数(人)	常勤	7	常勤	16	常勤	7	常勤	7	
	非常勤	0	非常勤	0	非常勤	0	非常勤	0	

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したのものとしては、「2 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

5. 令和2年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の状況	計 画	実 績
	<p>&lt;指定管理者実施分&gt;</p> <p>①施設の維持・管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理</li> <li>・施設の防火・防災</li> <li>・救急・警備・防犯</li> <li>・利用者の安全確保</li> </ul> <p>②テニスコートの運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内行事の企画・調整・実施</li> <li>・自然公園内県営公園施設条例に基づく利用の許可及び利用料金の徴収</li> <li>・施設の利用促進</li> </ul> <p>&lt;県実施分&gt;</p> <p>①施設被災時の本格復旧</p> <p>②行政財産目的外使用許可及び許可に伴う使用料の徴収</p> <p>③指定管理者の遂行する業務に属さないもの</p>	<p>&lt;指定管理者実施分&gt;</p> <p>①施設維持管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理は日常点検等によるテニスコート等の状態把握、施設周辺の除草等を実施した。</li> <li>・防火・防災・防犯等に関しては早朝・深夜にも対応できるよう青雲荘職員による体制を整え、地元消防や警察と密に連携をとった。</li> <li>・受付時に利用者へ注意事項を説明するとともに、事故発生時の対応に備えて賠償責任保険に加入した。</li> </ul> <p>②テニスコート運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事については、国際テニス大会（参加者：延べ230名）を実施した。</li> <li>・料金徴収は青雲荘のフロントにて行った。</li> <li>・青雲荘館内のポスター掲示やHP、フェイスブックによる情報発信を行った。また、雲仙温泉観光協会のHPでも情報発信し、利用促進を図った。</li> </ul> <p>&lt;県実施分&gt;</p> <p>①実績なし</p> <p>②実績なし</p> <p>③施設の修繕等（83千円）</p>

指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価

B

(説明) ※管理運営の状況や収支の状況の検証結果、成果指標の達成状況等を踏まえて記載

○施設の維持管理運営は適切に行われており、指定管理者が運営する国民宿舎と併せた管理運営により経費が縮減されている。また、利用者の安全管理への配慮も徹底しており、利用増進に向けた取り組みも実施されている。

○利用者数については、新型コロナウイルスの影響で施設の一時的閉鎖や雲仙への観光客の激減などにより目標を大きく下回った。なお、県テニス協会と国際テニス大会を開催するなど利用者増加に向けたイベントを実施している。

○施設の維持管理や利用受付等は計画書記載のとおり適切に実施されており、ほぼ期待した成果が上がっている。

## 6. 令和3年度事業の実施にあたり見直した内容

### 内 容

○新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組みつつ、安心して利用できる環境を整える。  
 ○大学や高校のサークルやクラブに対するテニス合宿プランの設定、長崎バスグループの組織力、ネットワークを活用した広報活動、地元旅館・ホテルの方々と協力し滞在日数・時間の延長を目的とした割引やイベント等、利用の増進を図る。

## 7. 令和3年度事業の評価

視点		評価	施設の在り方についての評価	視点		評価
指定管理者の行う管理運営等に関する評価	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a		必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている
	・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a			・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない
	・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a			・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	■ a. 適当（可能）でない b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である
	・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a		効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない
	・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a			・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる
	・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a			・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない
	(その他の観点)			有効性	・事業効果をさらに上げる余地はないか。	■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある
			(その他の観点)			

※評価区分（a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない）

## 8. 令和4年度事業の実施に向けた方向性

区 分	現状維持	■ 改善	移管	廃止
(説明：令和4年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容)				
○雲仙温泉街の宿泊施設、観光協会及びグループ会社等の協力を得て、効果的な周知広報を実施し、利用者の増加を図る。				
○国立公園内の施設として、安全で快適な利用ができるよう、適正な管理運営に努める。				
○施設移譲も含めた今後の方針について、市や観光協会と検討協議を行う。				